

こうざ えもんつうしん 講左衛門通信

平成25年9月22日

第7号

発行 天台宗忍草山東円寺

〒401-0511

南都留郡忍野村忍草38

☎ 0555-84-4114

『講左衛門さん、今日は、第6番霊場濁池（にごりいけ）の紹介でまっすん。』

『濁池は、阿原川の流れとほとんど合流して、現在はかろうじて池の名残をとどめている状態の池なんじゃ。濁池に流れ込む水の量が多いため、湧き水を確認することができないんじゃが、今でも少量ながら池底から水が湧いているんじゃよ。』

『濁池という名前だから、池は濁っているんでまっすん？』

『池の水は濁っていないんじゃ。この池には伝説が残っているんじゃが、伝説は次の機会にするとしてじゃ、和歌と竜王の紹介をしようかのう。』

東叡山御免 第6番霊場 濁池 阿那婆達多（アナバッタ）竜王

ひれふらす 竜の都の あらましき くみてしれとや にごる池水

意味 大空に*領巾（ひれ）がはためいている竜宮城の姿が目に見えようだ。その姿をみたいなら、この濁り池の水をみんな汲んでごらんなさい。そうしたら見えるかもしれないよ。
*領巾（ひれ）とは、城壁にはためいているはたのことを意味する。また、天女のはごろもという意味にも使われる。

「阿那婆達多」とは、サンスクリット語で、「無熱腦」（熱や悩みがなくなる）という意味で、馬形の竜王（頭が馬の形をしている）で、雪山の頂の池に住み、四大河を分出し、大地に恵をもたらすという、もっとも徳の高い竜王です。

『池の中に、竜宮城があるかもしれない・・・ファンタジーでまっすん。』

『現在の濁池では、想像するのは難しいかもしれないが、和歌を思い浮かべ、想像しながら池を巡ってほしいのう。大寄友右衛門は、忍野八海を造った功績が認められて、有栖川親王（東京の上野にある輪王寺門跡）からお褒めの言葉をいただいたんじゃが、和歌についても、たいそう褒められ古文書が残っておるんじゃよ。』

『様々な環境問題があるでまっすん。けれど、今の状態をおいらたちが守って行けばいいんでまっすん。』 『そうじゃ。みんなで守ることが大切なんじゃ。』

『次回は、第7番霊場鏡池でまっすん。鏡池の和歌も、深〜い意味があると聞いたでまっすん。』

『クニマッスンは、本当によく知っておるのう。感心、感心じゃ。和歌の意味が大切なんじゃ。』

意味が違っては、いみがないんじゃよ。しっかりと、皆に伝たえていかなくてはいかんのう。』

『よ〜し、気合を入れて、頑張るでまっすん。』



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは富士山案内責任者)

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

□癖 でまっすん…

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定